



森の神様に会いに行こう

森には神様がいらつしゃいます。
数百年、時には千年以上もの
長き時間を、ただじつとそこにいて、
森を、いのちを、守りつづけてこられました。
さあ、みなさん森の神様に会いに行きましょう。

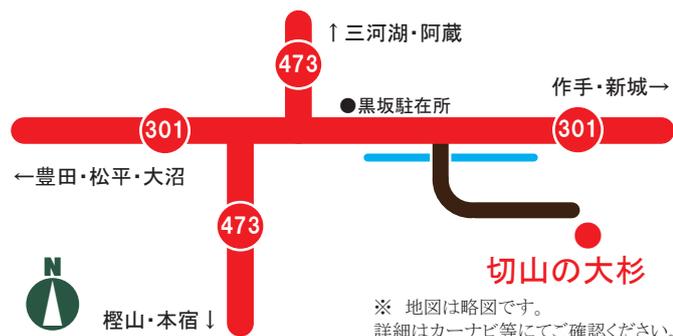
今月号は、旧額田町、現在の岡崎市
切山町にある愛知県指定天然記念物

の『切山の杉』をご紹介します。

遠くから見ると普通の杉の姿でしたが、近づくにご覧の通り、枝がハリネズミのトゲのように見える杉です。枝に勢いを感じ迫力ある巨樹に圧倒されました。

見事で不思議な樹形の杉は、樹齢1000年を越え、樹高38m、目通幹周8.5m、根周72mあります。

「芦生杉（アシウスギ）」と呼ばれる種類で、枝の垂れ下がった1本が地面に着き、それが根を張り成木になる特徴です。そこからきたのが、この樹には白髪の老翁がこの土地に、スギの杖を逆さまに挿して立ち去ったものが、生長したという伝説があります。おもしろい見方も出来て、少し不思議な感じがしました。（すぎうら）



【道案内】 [岡崎市切山町大ヱレ]

岡崎の本宿方面から国道473号線で三河湖方面に北上します。国道307号線との交差点を右折して作手方面へ。約300m先を右折し（すぐの石橋を渡る）道なりに進むと右側にあります。町はずれの静かな場所で、広～い駐車場（左側）もありますよ。

